

令和5年度 かながわ市民活動フェア

日 時：11月18日(土) 09:30～16:30
11月19日(日) 09:30～16:00
会 場：かながわ県民センター 1・2階

WEBフェア

日 時：11月18日(土)～12月18日(日)

WEBフェア会場 ⇒

<https://kskfair.wixsite.com/katsudofair2023>



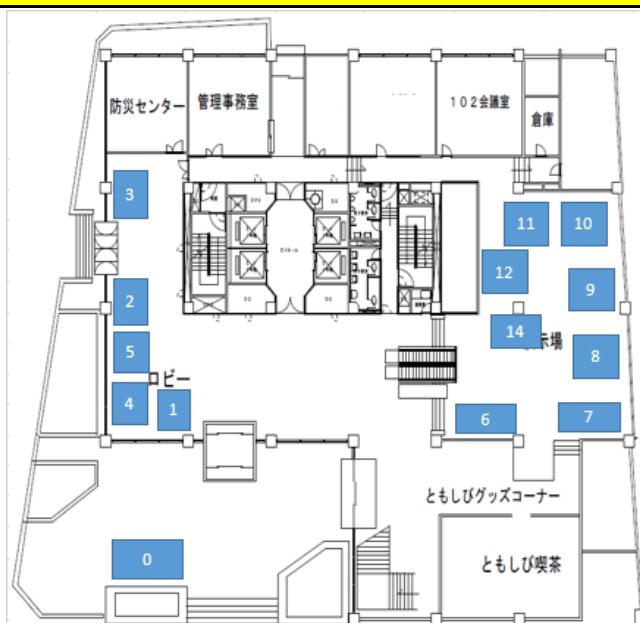
主催:かながわ市民活動フェア運営委員会
協力: かながわ県民活動サポートセンター

令和5年度かながわ市民活動フェア参加団体一覧

ブース	団体名・組織名	展示・実演・販売等の計画内容	物品販売
0	日本ソーラーッキング協会◎	展示、説明、ソーラーッキング実演、ソーラークッカーの販売。	CD「ソーラーッキングの歌」、クッカー、ランタン
1	かながわ市民活動フェア運営委員会◎	かながわ市民活動フェアの趣旨実現を追求し参加団体を支援します。	
2	NPO法人アジア農業フォーラム機構◎	安心安全な農業、食の安全を推進し、地球を守る技術の開発、推進をテーマに活動する姿を展示します。	自営圃場産のコメ ブルーベリー
3	かながわ災害ボランティアバスターム◎	全国で頻発する自然災害に際し、被災地の復旧・復興のために多くの仲間とともに現地活動を通してお手伝いさせて頂き、活動の様子を県内に伝えます。	
4	県民活動サポートセンター協議会◎	講演会「人生100年時代 どう生きるか」90分、2回、三谷晃一講師	図書 「新しい就職活動の仕方」
5	県民活動サポートセンター◎	ボランティア活動を支援するため実施している主な支援事業を紹介します。	
6	神奈川県サイクリング協会	生涯スポーツとして「安心・安全なサイクル・ツーリズム」の啓発・普及と交流を深めます。★自転車2台(旅する自転車 カモメ自転車)	協会オリジナル トートバッグ
7	神奈川県政モニターOB会◎	PR文・写真などを掲示し、パンフレットを配布します。	かりんとう、梅干し 梅ジャム
8	まんまる会◎	「留学生の夢かなえます！」キャンペーンを再開します。	
9	認定NPO法人地球学校◎	地球学校の活動を紹介し、NPOミニ体験会、寺子屋を開催します。	
10	NPO法人福祉支援ゆうやけネット◎	SNS初体験講座、スマホ・PC寺子屋実演、バリアフリーマップを展示します。	
11	ご近所 de BOSAI◎	「手ぬぐいからBOSAI #首都直下地震サバイバル #ソング deBOSAI」、「もしも」の直下地震発生後にも役立つ手ぬぐいの活用法を展示します。	手ぬぐい
12	関東防災連絡会（国土交通省関東地方整備局、神奈川県）	大地震に遭遇したら！？。日頃からの地震への備えは、関東大震災から100年を迎えた今、バーチャルリアリティ（VR）の世界で体験の中から学べます。	
13	かながわ市民活動フェア運営委員会◎	第8回防災推進全国大会で収集した全国各地の防災パンフレットなどを展示します。普段の備えから避難、自分の生命を守る知恵までの情報が込められています。	
14	かながわ「福島応援」プロジェクト◎	東日本大震災と福島原子力発電所の事故から復興への人々の思いと産業再生への挑戦、そして誰でもが参加できるボランティア活動の例を展示します。	福島・山形県産の豆菓子 酒粕
15	ユッカの会◎	国際交流スピーチ会を開催します（会場：カナファンステーション）。	
16	かながわ朝鮮女性と連帯する会◎	在日朝鮮女性との交流を通じて日朝国交正常化を目指しての活動を展示します。	
19	和服リフォーム「和児」◎	和服リフォーム商品を展示・販売します。	コサージュ、バッグ 洋服
20	公益社団法人神奈川県栄養士会◎	活動紹介、栄養士会作成料理レシピカード、試供食品サンプルを配布します。	
21	び〜す・め〜る◎	活動紹介、絵はがき販売など。	手作り絵ハガキ
22	日中友好神奈川県婦人連絡会◎	日中友好のバザー、留学生との交流など日本と中国との相互理解を深めるための活動を展示します。	お茶、馬油、中国製品、衣類
24	かながわ市民活動フェア運営委員会◎	来館者休憩・交流スペース（会場内では水分補給以外の飲食はできません。）	
25	かながわ市民活動フェア運営委員会◎	ミニバザー（18日10:00～16:00、19日10:00～15:30）	バザー オークション
31	NPO法人かながわ避難者と共にあゆむ会	東日本大震災と東京電力福島原発事故で神奈川県に避難している人々が、安心して暮らし、将来的に帰還や生活再建に繋がるよう、相談、見守り、交流等を支援しています。	
32	NPO法人環境観察グループ あおい。くじら	地球環境の負荷を観察・研究し、子どもの身体の安全性を第一に考えた衣・食・住を研究して、市民が身体や環境的リスクを判断できる仕組みづくりに寄与することを目的としています。	
33	かながわコミュニティカレッジ事務局	地域課題の解決や活性化活動に取り組む県民の「学びの場」として、様々な分野の講座を開催し、NPOやボランティア活動に必要な知識や技術を体系的に学ぶことができます。	
合計	対面フェア参加 22団体（◎はWEB フェア参加） 17、18は欠番	WEBフェア参加団体 22（うちWEBフェアのみ参加3団体）	

令和5年度かながわ市民活動フェア会場 見取り図およびブース配置図

1階見取図



2階見取図



展示場所：かながわ県民センター玄関前

0.日本ソーラーッキング協会(雨天時は2階ホール前)

【国際交流、環境】



当協会はソーラーッキングが普段の生活の一部になるようにとの思いで、普及活動をしています。とりわけこども達には、楽しい体験として心に残してもらい、そしていつかその体験を生かして行動につなげてほしいと思っています。世界中に平等に降り注ぐ太陽、そのエネルギーを普段の食生活に・・・素晴らしいではありませんか！「一家に一台ソーラーッカー」を目指します。SDGs17の推進を実行します。

問い合わせ先HP URL

<http://jsolarcooking.g2.xrea.com>

連絡先電子メールアドレス

jscajp@yahoo.co.jp

展示場所：かながわ県民センター 1 階ロビー

1. かながわ市民活動フェア運営委員会

【ボランティア活動・NPO支援他】



かながわ県民センターを活動拠点とする市民団体の発表の場として1997年に創設された「市民活動フェア」は、2018年、かながわ市民活動フェア運営委員会が事業を引継ぎ、かながわ県民活動サポートセンターの協力のもと、活動を再開しました。

コロナ禍でも「WEBフェア」として継続してきましたが2022年には「是非、交流・発表の場を！」という要請が高まり、かながわ県民センターを会場とするフェアとWEBフェア2022を併用して開催しました。今年度も会場・WEB併用して、第11回目となる令和5年度かながわ市民活動フェアを開催します。

参加団体と個人有志の自主的な参加・協力で開催する市民活動フェアの企画・運営に関心を持たれた方がおられましたら、郵便あるいは電子メールで、下記連絡先あてにご連絡下さい。

かながわ県民センター9階、レターケース 241

問合せ先HP URL

<https://kskfair.wixsite.com/katsudofair2023>

連絡先電子メールアドレス

shiminkatsudofair.kanagawa@gmail.com

2. NPO法人アジア農業フォーラム

【国際交流、環境】



- 1) 安心安全な農業、食の安全を推進しています。
 - 2) 環境を守るごみ処理、プラスチックの油化還元システム、省エネ対策技術などを推進しています。
 - 3) 健康を守るサプリメントや器具の開発・推進をしています。
- 地球を守る技術の開発・推進をテーマに活動しているNPOです。

連絡先電子メールアドレス

motoa0802@gmail.com

3. かながわ災害ボランティアバスチーム (ボラバスチーム)

【防災】



「かながわ災害ボランティアバスチーム」は、東日本大震災被災地東北の復旧・復興支援活動を行っていたボランティアグループを前身とし、2014年1月に設立しました。

東日本大震災から11年半が経過し、被災地では忘れ去られることへの不安の声が多く聞かれる一方、今もボランティアによる様々な形の復興支援が必要とされています。大規模自然災害は毎年発生し、被災に苦しむ人々は全国に多くおられます。わたくしたちはボランティアバス事業をはじめとする現地での活動を通して、多くの仲間とともに被災地の復旧・復興のお手伝いをさせていただくとともに、現地への応援の思いをつなげる活動を継続しています。そして被災地で見聞したこと、感じたことを神奈川に持ち帰り、より多くの活動参加者が減災・防災意識を高め、災害現場で活動するスキルを身につけること、さらに、新たな災害発生時に緊急対応できる人材育成や組織作りも目的の一つとして活動しています。

問い合わせ先HP URL

<https://kanagawavolunteerbus.jimdo.com/>

連絡先電子メールアドレス

borabus.info@gmail.com

展示場所：かながわ県民センター 1階ロビー

4. かながわ県民活動サポートセンター協議会

【団体交流】



「サポートセンター協議会」をご存知ですか？

当協議会は利用者から公募で選ばれた委員が、利用者の意見をサポートセンターの運営に反映させ、県民に開かれたものとするともに、サポートセンターと協力して利用者の自主的な活動を促進するために設置された組織です。利用者とサポートセンターが、互いの立場を尊重して対等に協議を行い、様々な分野のボランティア活動の紹介や利用者の交流を図る企画を実施しています。

かながわ県民活動サポートセンター ボランティア活動サポート課

問い合わせ先HP URL

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/kyogikai/index.htm>

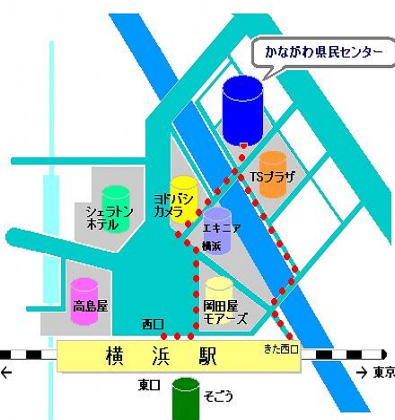
連絡先電話

045-312-1121（内線2840）

連絡先電子メールアドレス

kyogikai.saposen@gmail.com

5. かながわ県民活動サポートセンター



ボランティア活動を行う市民を支援するため、当センターが実施している支援事業を紹介します。次のリンク先をご覧ください。

- 1 [ボランティアサロン](#)
- 2 [ミーティングルーム](#)
- 3 [ロッカー、レターケース](#)
- 4 [ワーキングコーナー](#)
- 5 [ボランティア活動相談窓口](#)
- 6 [かながわコミュニティカレッジ](#)
- 7 [かながわ災害救援ボランティア活動支援室](#)
- 8 [かながわボランティア活動推進基金 2.1](#)
- 9 [かながわ県民活動サポートセンター協議会](#)

連絡先電話番号（8.以外の事項）

ボランティア活動サポート課
045-312-1121(内線2821～4)

連絡先電話番号（8.について）

基金事業課045-312-1121（内線2831、2832）

展示場所：かながわ県民センター 1階展示場

6. 神奈川県サイクリング協会

【自転車旅行・スポーツ】



1956年から神奈川県唯一の正式なサイクリング協会として「会員の会員による会員のためのサイクリング団体」として活動しています。

全国初のサイクリング道路の立ち上げにも携わりました。

今回は、市民の皆さまへ生涯スポーツとして「安心・安全なサイクル・ツーリズム」の啓発・普及と交流を深めるための展示をします。

★自転車2台(旅する自転車 カモメ自転車)

問い合わせ先HP URL

HP <http://kca-web.com/>

問い合わせ先

〒212-0054
川崎市幸区小倉 4-5-27 ブルータウン小倉106
神奈川県サイクリング協会事務局 青木 宏治 宛

展示場所：かながわ県民センター 1 階展示場

7. 神奈川県政モニターOB会

【環境】



当会は1971年に県政モニター経験者の有志で設立しました。
会員の知識向上を目的に、時機にあったテーマの学習会、講演会、見学会を行い、また、市町村の課題などを知るために首長との懇談会をしています。好奇心旺盛な方、興味を持たれた方は下記までご連絡下さい。

連絡先電子メールアドレス

連絡先 e-mail : shimizu_mn@yahoo.co.jp

8. まんまる会

【国際交流】



留学生にお知らせ！

小さな夢 募集再開！

写真は、反物選びから裁断、仕立てまで一人で浴衣作りに挑戦した留学生

まんまる会は、日本に暮らす留学生と普段着の交流をし、真の友好関係を築こうと、神奈川県の主婦を中心に1987年に発足しました。

これまでに、バザー、手作りの昼食を囲んだ交流会、ハイキングや料理会などを開いてきました。

2002年度から、母国を遠く離れて勉強する若者を励まし勇気づけようと、『留学生の夢叶えますキャンペーン』と名付けた企画を始めました。「ささやかな夢」「ユニークな希望」を文章にして応募していただき、選ばれた留学生に夢実現への支援金を助成し、アドバイスをします。

『留学生の夢叶(かな)えますキャンペーン』4年ぶりに再開！

応募受付：2023年11月30日まで！！

詳細はまんまる会HPをご覧ください。

*皆様！お知り合いの留学生にキャンペーンをご紹介ください

問い合わせ先HP URL

<http://manmarukai.starfree.jp/index1.html>

連絡先電子メールアドレス

onokyo@nifty.com

9. 認定NPO法人 地球学校

【多文化共生、国際交流】



認定 NPO 法人
地球学校

地球学校の各教室が、日本語を学習する場であるとともに、自分らしくいられる居場所であれたらいいと思っています。

地球学校は、諸外国から来日した人々に日本語学習を通じて多文化交流事業を行っています。「みんなちがって、みんないい。国を越えて、人と人をつなぐ」地球学校での出会いや交流で感じたことを、伝え広めていってくれることが何よりの願いです。それは、国と国との交流より、人と人との友情や絆が、同じ地球の仲間として未来につながる架け橋となると信じるからです。

NPOの事業としては3つあり、リアルな活動は「かながわ県民センター」で活動しています。

1. 日本語教室：有料有償のレッスン、オンラインでも実施。
2. 地球っ子教室：外国につながる子どもたち対象の無料の日本語学習教室。予約制で開催中。
3. 多文化交流事業：1、2の事業のベースとなる交流タイム。

「漢字王決定戦」ほか開催中。

地球学校の展示は19日(日)のみです。

問い合わせ先：HP URL

<https://chikyu-gakko.org/>

<https://www.facebook.com/chikyugakko/>

<https://www.facebook.com/kanjiooo/>

展示場所：かながわ県民センター 1階展示場

10. 認定NPO福祉支援ゆうやけネット

【情報化支援】



地域の様々な補助が必要な人への情報化支援（パソコン、タブレット、スマートフォン、SNSなどの活用）を行っています。
福祉、地域医療、ボランティア団体に従事する方へ、情報化支援（エクセル、ホームページ、データベースなど）を行い、地域での活動でITを活用して豊かな生活ができるように支援します。地域の生活を豊かにするバリアフリー普及、調査、情報発信をすることで、住みやすい住環境に貢献しています。

問い合わせ先：HP URL

<https://yuuyake.or.jp>

連絡先電話番号

044-220-1588

11. ご近所 de BOSAI

【防災】



東日本大震災の教訓を忘れず、東京都文京区でも教訓を生かす人々がいることを見える化したいと、手話の「こんにちは」でもある11ポーズ「わんわんポーズ」（3.11から両手の人差し指を立てて）を作り、私たちの思いを伝えたいと設立しました。災害が複合することがあること、その教訓を自分たちのまちで生かすこと、「つながる」ことは「備える」となること、この三つを大事に啓発活動をしています。
災害の教訓を生かし、科学者・消防署・行政・町会・被災体験者となつがって、地域に根ざした実践的な防災啓発イベントを計画・実施しています。大地震時の初動期のいのちを守るために、事前の備えの重要性と、ご近所での助け合いの大切さを「ソング de BOSAI #直下地震バージョン」の歌詞に込めて歌を防災仲間と作りました。また、もしもの時に役立つ伝統の手ぬぐいの魅力と活用の仕方を広めています。

問い合わせ先：HP URL

<https://www.5kinjode-bosai.com/>

連絡先電子メールアドレス・連絡先電話番号

kbosai311@gmail.com 080-3174-7870

12. 関東防災連絡会(国土交通省関東地方整備局、神奈川県)

【防災・減災】



関東防災連絡会は首都直下地震など広域かつ大規模な災害が発生したとき、防災関係機関による連携した災害対応を効果的に推進できるよう、災害時等における防災関係の行政機関及び公共機関(団体)の災害対策に関する情報の共有及び施策の連携、調整を行うことにより、国民の生命・身体及び財産の保護に資することを目的に設立されました。現在58機関で構成され、情報共有訓練や意見交換等を行っています。
展示ではVRの体験を通じて地震への備えについて考えていただくきっかけを提供します。
VR体験：19日(日) 10:00～16:00

問い合わせ先：HP URL

<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index00000037.html>

展示場所：かながわ県民センター 1階展示場

13. 防災パンフレットの展示

【防災・減災】



台風の風水害、豪雨・土砂災害・噴火などの際は、予報、警報、避難指示などが発令されます。大きな被害が発生することなく警報解除となることも多いのですが、無事・安全であったことで、人々の心の中に正常化バイアス・同調性バイアスなどの問題が生じることもあります。甚大な被害をもたらす自然災害はいつか必ず発生します。関東大震災100年にあたる今年、第8回防災推進全国大会(ぼうさいこくたい2023)が神奈川県で開催され、全国各地の防災の取り組みや資料が展示されました。ハザードマップや防災パンフレットには、普段の備えから避難、自分の生命を守る知恵まで、また自助・共助でどのような活動ができるか、全国各地の多くの情報が込められています。

問合わせ先 連絡先：ハザードマップについては、居住地の市区町村の防災担当課にお訊ね下さい。

14. かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

【防災、被災地支援】



東日本大震災と東京電力(株)福島第一原発の事故により、今も3万人以上の福島県民が県内・外に（神奈川県内にも377世帯、703名が）避難しています。住民の帰還は市町村のおかれた環境により1～20%と差があり、福島は未だ復興途中です。そのような状況下にあいながらも、各自治体と住民は生活インフラの整備、新しい農業への転換、企業誘致と働く場所の確保などに努め、コミュニティの復興と帰還、故郷での生活再建を目指して様々な動きを開始しています。現地のボランティア活動も以前のような家屋の片づけ、草取り、伐採、選定などの作業は相双ボランティアなど現地のボランティア団体に担われていて、ニーズが減じ、新しい農業の手伝いなどボランティア活動の態様も代わってきました。

かながわ「福島応援」プロジェクトはこれらの動きに対応して、今後も現地で支援活動を継続するとともに、現地の実情をより深く知り、学ぶための視察研修会・講演会・勉強会を開催し、それを神奈川に伝える活動を続けてまいります。

問い合わせ先HP URL

<https://kfop.jimdofree.com/>

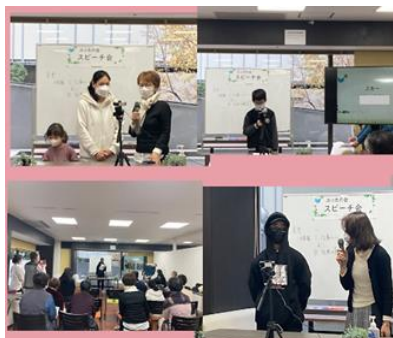
連絡先電子メールアドレス

info.kfop@gmail.com

展示場所：かながわ県民センター2階ホール前

15. ユッカの会

【多文化共生、国際交流】



ユッカの会は、中国残留邦人帰国者家族および外国につながる人々の教科学習支援や日本語学習支援、生活上の問題や進路・進学・就職の相談などを行っています。いつも現状を見つめながら、ともに学び、ともに楽しむ気持ちを大切にして、この会がお互いの良き出会いの場になるよう活動を続けてゆきたいと思っています。

今年は11月19日(日)午後1～3時、国際カナファンステーションを会場にお借りして、「国際交流スピーチ会」を開催します。スピーチ会は会場でご清聴頂くことも、Zoomでオンラインで視聴することもできます。また、スピーチ会の模様は、後日、WEBフェアでも配信いたします。

問い合わせ先HP URL

<https://yukkanokai2014.web.fc2.com/>

連絡先電子メールアドレス

yukkanokai@yahoo.co.jp

16. かながわ朝鮮女性と連帯する会

【女性・平和】



在日の朝鮮女性との草の根の交流を通じて日朝友好・国交正常化に取り組んでいます。モランボンの丘で拾われたぎんなんが根岸森林公園で3本のイチョウの木となって大きく育っています。その木の下で44回目の「いちょうの木のつどい」を開催しました。

また、朝鮮学校への授業料無償化適用、幼保無償化適用、神奈川県・横浜市への補助金再開などに取り組んでいます。

市民活動フェアでは朝鮮学校生徒の作った壁新聞や写真展示、日用品バザーを行います。今回は参加者とのふれあいを考え新たにチマチョゴリの折り紙コーナーを設けます。

連絡先電子メールアドレス

i.joseikaigi@sky.plala.or.jp

連絡先電話番号

[I女性会議神奈川県本部 TEL/FAX045\(662\)8148](tel:0456628148)

展示場所：かながわ県民センター2階ホール

19. 和服リフォーム「和児」

【和服リフォーム】



1986年設立。和服を洋服・バッグ・アクセサリ・小物・タペストリー・掛け軸などにリフォームして、その展示・体験・販売を行っています。時には、チャイルドからシニアまでの人たちとボランティアでファッションショーを行っています。和服リフォームに関心のある人を募集しています。

連絡先電子メールアドレス

k.wako@creat.ocn.ne.jp

連絡先電話番号

[045-861-2557](tel:0458612557)

展示場所：かながわ県民センター2階ホール

20. 公益社団法人神奈川県栄養士会第1県民活動事業部

【健康維持・増進】

(公益社団法人) 神奈川県栄養士会
第1県民活動事業部会



公益社団法人神奈川県栄養士会は、管理栄養士・栄養士で組織された職能団体です。第1県民活動事業部会は横浜市に在住・在勤の会員が所属しています。主に横浜市の様々な職能団体等と連携して、健康フェア等に参加し、食を通じた健康づくりに取り組んでいます。今年は活動展示の他、第1県民活動事業部会で作成した料理レシピ集の配布を計画しています。

これからも、すべての世代に必要な健康的な食生活を支援する活動を進めていきたいと思っています。

問い合わせ先HP URL

<https://www.kana-eiyo.or.jp/>

連絡先電話番号

[045-315-6301](tel:045-315-6301)

21. ぴ〜す・め〜る

【防災・減災、避難者支援】



「すべての武器を花に」のスローガンの元、9条バッチャや手作り写真の絵はがき・高原の花シリーズなどを作成、販売しています。その時々々の時事問題を取り上げ、年に二回の学習会を開催、「ぴ〜す・め〜る」誌を発行しています。参加歓迎します。今回は手作り写真絵はがきの販売と原発の写真を展示します。

問い合わせ先

県民センター レターケース88

連絡先電話番号

[045-363-8127](tel:045-363-8127)

22. 日中友好神奈川県婦人連絡会

【国際交流、平和】



日中友好のため活動、「友好・平和・女性」をスローガンに、訪中団を派遣して女性同士の交流、7・7盧溝橋事件記念のつどい、バザー、留学生との交流など日本と中国との相互理解を深めるための活動を行っています。フェアでは写真などによる活動紹介とミニバザーで交流を深めたく、皆様のご支援をお願いします。写真は交流&バザーの茶芸披露の模様です。

問い合わせ先

県民センター レターケース64

連絡先電話番号

[045-363-8127](tel:045-363-8127)

25. ミニバザー

寄付いただいた商品や、普段の活動の様子をうかがわせるような商品が並ぶかも知れません。

お問合わせ先:HPのWEB特設ページ

<https://kskfair.wixsite.com/katsudofair2023>

連絡先電子メールアドレス

shiminkatsudofair.kanagawa@gmail.com

WEBフェア2023への参加と展示

31. NPO法人 かながわ避難者と共にあゆむ会

【防災・被災地支援】



NPO法人 かながわ避難者と共に歩む会は、東日本大震災と東京電力福島原発の事故で神奈川県及び近郊に避難されている方々が、避難先で安心して暮らし、将来的に帰還や生活再建に繋がるよう、相談、見守り、交流の場の提供等、避難者の実情に応じた支援活動を実施しています。

問い合わせ先：HP URL

<https://hinansha-shien.net/>

連絡先電子メールアドレス

ayumu.tomoni@gmail.com

32. NPO法人 環境観察グループ あおい。くじら

【環境】

木と人の健康を救済



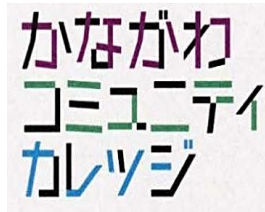
NPO法人 環境観察グループ あおい。くじら は、地球環境の負荷を観察・研究し、子どもの身体の安全性を第一に考えた衣・食・住を研究することで、市民が身体や環境的リスクを判断できる仕組みをつくる事業を行い、人類の子孫や動植物の環境を確保することに寄与することを目的としています。「暮らし住環境」の情報を皆様にお役立て頂こうと思っています。

問い合わせ先：HP URL

<https://kujira.enspt.org/>

33. かながわコミュニティカレッジ事務局

【中間支援活動】



かながわコミュニティカレッジは、神奈川県が開設する地域で活動する県民の皆様の「学びの場」です。豊かで自立した地域社会づくりに貢献するため、県内でNPO支援活動にたずさわる有志が集まって立ち上げた市民運営の団体です。市民・NPO・企業・行政機関など様々な人や組織、社会資源をつなぐ中間支援活動をおこなっています。共に支え合う共助の社会づくりに向けて、地域課題の解決や活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。

問い合わせ先：HP URL

<https://komikare.soco-kana.jp/>

電話（直通）：045-620-0743
（日・月・祝日・年末年始を除く
火曜～土曜9～17時45分）

令和5年度「かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託しました。コミュニティカレッジの運営は平成27年より毎年委託を受け、今年度で9年目となります。

年間を通じて、様々な分野で多彩な講座を開催し、NPOやボランティア活動等に必要な知識や技術を体系的に学ぶことができます。令和5年度は32講座を実施する予定です。